

SurgiSeal®

TOPICAL SKIN ADHESIVE
2-Octyl Cyanoacrylate

皮膚用接着剤 サージシール®スタイラスの機能と優位性について

2017年に発売されたサージシール®スタイラスは、新たなテクノロジーと特許によりいままでの接着剤にはない、新機能を実現しました。これによりストレスなく接着剤が使用でき手術時間の短縮、病棟での管理を簡便におこなえます。

サージシール®の3つの新機能



- 1 容器を押し潰す必要がなく、**なぞるだけで塗布できる**
- 2 接着剤が容器内で固まらず、**長時間使用できる**
- 3 **低刺激性、低発熱性を実現**

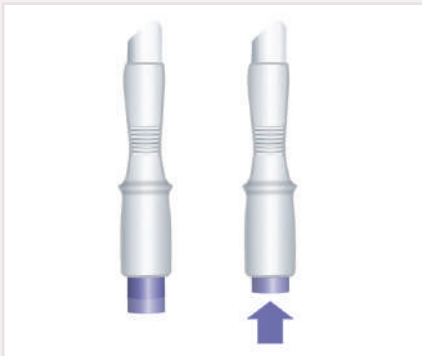
サージシール®の優位性

1. 優れたアプリケーター

サージシール®の容器は、ガラスアンプルを使用していないため、簡単に開封でき、すぐに使用できます。

この容器はより少ない接着剤で、より広く塗布できるようにデザインされています。

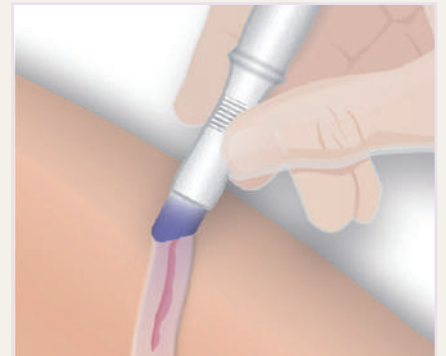
押しつぶして液剤を出す必要がなく、患部をなぞるだけで接着剤の塗布が可能のため、均一に塗布ができ、効率よく創傷閉鎖を行えます。



先端を上向きにして、底のボタンを上方へ押す。



容器を逆さにして、接着剤が先端に流れるようにする。

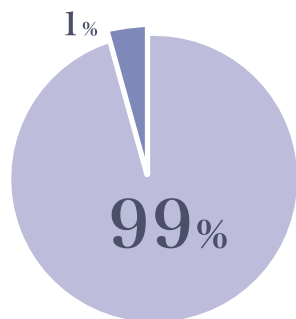


患部を寄せて、2層に塗る。1層目と2層目の間は30秒間の間をおく。

2. 容器内で液剤が固まらない

サージシール®の容器は、接着剤の主成分である2オクチルシアノアクリレートの純度が99%と高く、液剤の硬化を促進する活性剤がわずか1%以下(※グラフ参照)であることと、液剤の中に活性剤が含まれているため、吐出口で液剤が固まることを防ぎます。

これによりサージシール®は手術での効率を上げる事ができ、複数の損傷に使用でき、液剤の無駄を少なくするようにデザインされています。



サージシール®の配合成分比較

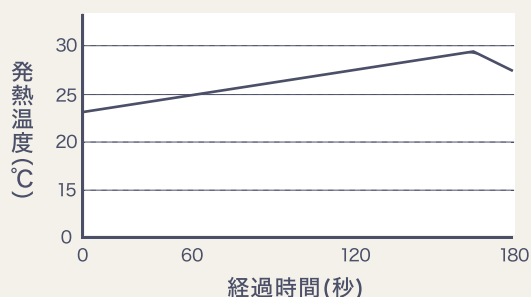
OCA(2オクチルシアノアクリレート)

活性剤

サージシール®接着剤は純度が高く、活性剤や充填剤で薄められていない

3. 低刺激・低発熱性

上記の記載の通り、純度が高いため、液剤が硬化する際に発する発熱反応が緩やかです。

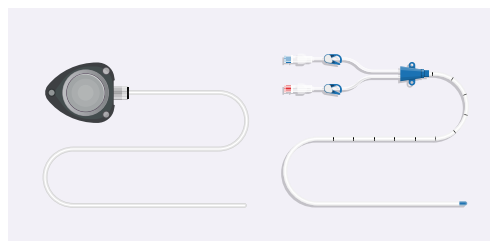


硬化時発熱温度の経時変化

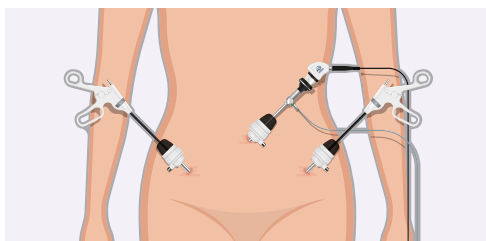
- 試験方法 人工皮膚の上にサージシール®を塗布し、熱電対にて硬化時発熱温度の経時変化を観察した。(n=3の平均値)※社内試験
- 結果 塗布後、若干の温度上昇は見られるが、最大値でも28.9°Cと皮膚温度よりも低い温度しか上がっていない。

皮膚用接着剤の利点

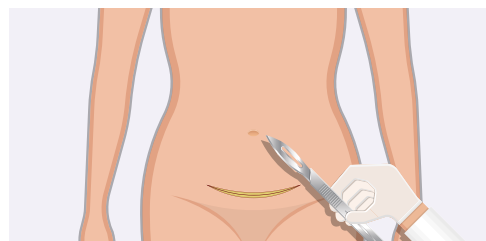
皮膚用接着剤は、縫合糸やステープラーなど他の創傷閉鎖材料なしで素早く創閉鎖が行え、抜糸などの術後管理が不要になります。また、テープなどによるかぶれ、剥がれがない為、病棟管理の簡便化が行えます。特に以下の手技で接着剤の有用性が発揮されます。



中心静脈注射用植込型カテーテル
設置時の閉鎖



ラパロポート閉鎖



帝王切開時の切開創の閉鎖